



成果報告会

福岡市ソーシャルスタートアップ成長支援事業

2025年3月27日

ぶんまる/ 株式会社pono

代表取締役 牛島智絵

多胎育児の現状＋マイノリティゆえの困りごと

妊娠中リスク

- ・長期の安静や入院
- ・妊娠高血圧腎症等（母体）
- ・双胎間輸血症候群（胎児）

出産リスク

- ・切迫流産や早産
- ・帝王切開
- ・低出生体重児

育児の負担

- ・経済負担
- ・物理的な人手不足（外出等）
- ・同時泣きや同時授乳

『情報・繋がり・居場所』との距離が遠い



そのために本事業で取りくんだこと

多胎妊娠育児アプリ「moms」をプレリリース（2025年3月5日）

SNS機能

多胎119

本リリースでは以下の機能も実装予定

ショップ機能



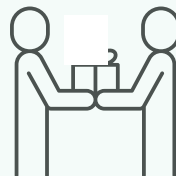
多胎育児記録



お出かけMAP



お譲り機能



ヘルスケア機能



ホームステイ



得られた成果



01 法人化

株式会社pono設立

02 多胎妊娠育児アプリmomsプレリリース

初日で**1,000**DL突破
現在は**2,739**DLに増加 (2025年3月15日時点)

03 メディア掲載

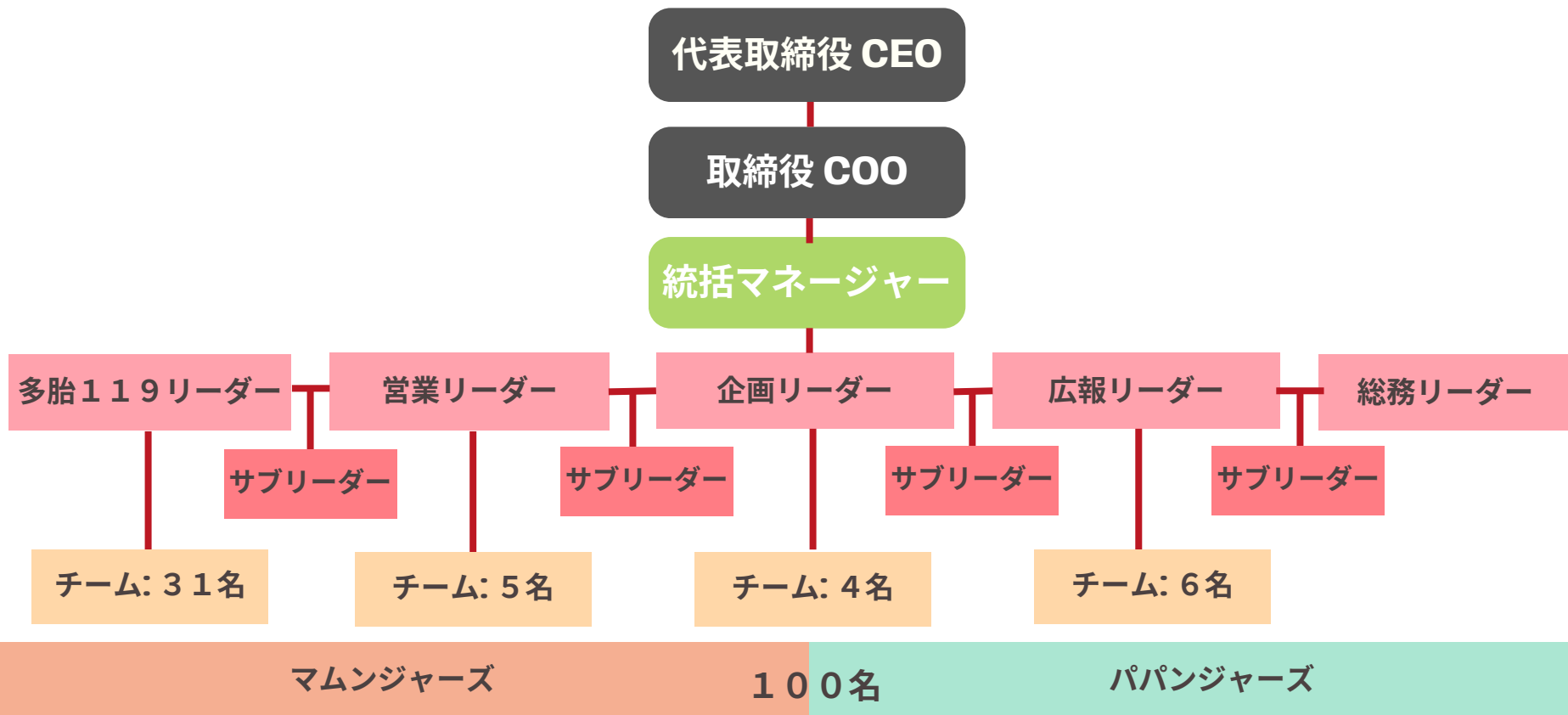
朝日新聞社 夕刊一面掲載
テレビ各局 プレリリース当日の取材

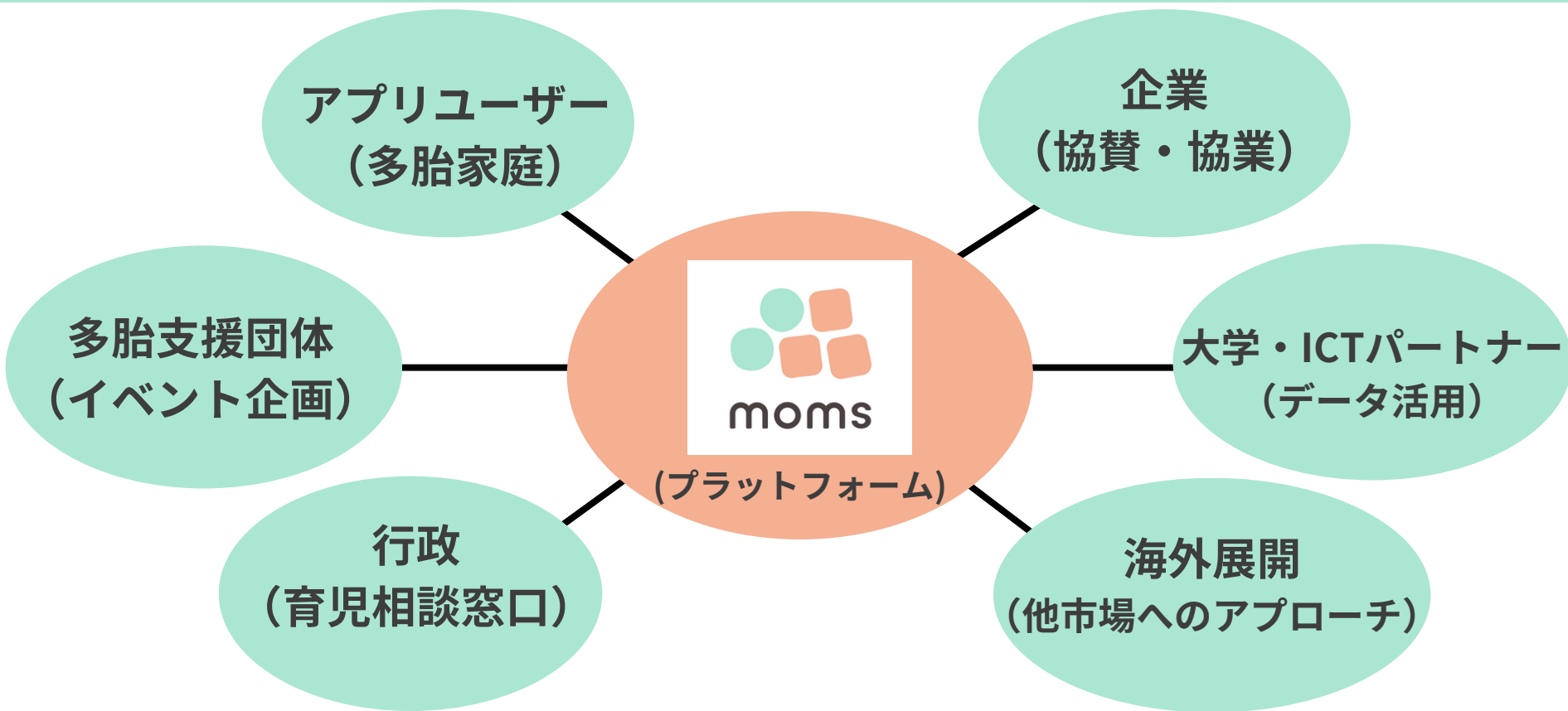
04 協賛企業数十社

協賛品の提供
共同商品開発の提案
特別クーポンの発行
試食会などタイアップイベントのご提案
多胎119で福岡県・佐賀県の公示協力
こども家庭庁との意見交換

05 行政との連携

組織図





今後取り組んでいく課題

01

資金調達

安定した運営につながるマネタイズ
ユーザー満足度の向上

02

周知と認知

多胎妊産婦が100%認知する
行政からの協力を得る

03

ponoな世界

ママが自身の心地よい状態を保つ
家族や社会との調和を図る
ありのままの心地よい自分を愛する

04

momsの事業展開

momsがプラットフォームとなり、
スクール事業や在宅ワーク紹介事業に
つなげていく

05

多胎に関するデータ価値

momsを通してのデータの収集
(大学×ICT企業とのプロジェクト)